

オーブン カレッジ

医療を取り巻く環境は、日々高度化、専門化が進み、また療養の場が病院から在宅へ移行するなど多様に變化している。それに伴い看護師の業務も多様化する中、より質の高い看護技術力、実践力が求められている。ところが、近年では、新人看護師が一人こなせる技術は少なく、自信がもてないまま不安のなかで業務を実施していると言われている。しかし、看護学生は今までと変わらないテキストや教員指導のもと真面目に練習し、技術習得に向け

看護教育と現場のギャップ

はさまざま考えられるが、その中の一つに看護基礎教育で習得する技術と臨床現場で求められる技術にはギャップがあると言われている。そこで、この「ギャップ」が生じる原因を探るため、大学で使用しているテキストを今一度眺めてみると、改めて疑問を感じる点が見えてきた。

例えば「洗髪」技術について、看護師が行う洗髪には①清潔の保持②感染予防③気分をさわやかにする④毛髪の成長の助長⑤鬮病意欲を高めるといふ目的があると記載されている。また、その方法は、何年も前から変わらない物品、手技によって記載されていた。そこで、テキスト

を減少させる方法の記載がなかったのである。そこで、洗浄効果を高めるための条件や洗髪を受ける方の安全・安楽の保証を考慮した汚れを減少させる洗い方を構築した。この「十分な湯量で、手掌を碗状にして湯を溜め、頭髪を湯の中で揺らし頭皮にふわふわと湯をかけて行う洗い方」は新しくテキストに記載された。次に、臨床で使用する物品の全国調査では、テキストにある洗髪物品は使用されておらず、高分子吸収ポリマーシート（吸水シート）とシャワーボトルで実施されていた。この物品では清潔の保持や気分をさわやかにする洗髪は難しいと考えるが、そこには洗髪を受ける対象が重症化・高齢化しているなどのやむを得ない事情があった。そこで、洗髪を受ける方の安全・安楽の保証を第一に考慮し、さらに、実施する看護師が抱える負担や問題を解決することができると期待される。今後、多様な洗髪技術の向上や洗髪の方法を達成できることが期待される。

看護技術力の 向上のために

努力している。それにもかかわらず臨床ではうまくできない、役に立たないとはどういふことか。この原因



部学教
部学教
部学教
部学教

衣生 本社

トの方法で洗髪して目的を達成できるか、現状を調査・検証し、その課題解決策を構築するための研究を実施した。

まず、テキストの方法で実施した洗髪前後の頭髪および頭皮の汚染状況を調査してみると、洗髪後には汚れの残存があり、洗髪前よりも汚れが増し適切に洗浄できていなかった。テキストには、血行を良くする洗い方の記載はあるが、汚

れを減少させる方法の記載がなかったのである。そこで、洗浄効果を高めるための条件や洗髪を受ける方の安全・安楽の保証を考慮した汚れを減少させる洗い方を構築した。この「十分な湯量で、手掌を碗状にして湯を溜め、頭髪を湯の中で揺らし頭皮にふわふわと湯をかけて行う洗い方」は新しくテキストに記載された。次に、臨床で使用する物品の全国調査では、テキストにある洗髪物品は使用されておらず、高分子吸収ポリマーシート（吸水シート）とシャワーボトルで実施されていた。この物品では清潔の保持や気分をさわやかにする洗髪は難しいと考えるが、そこには洗髪を受ける対象が重症化・高齢化しているなどのやむを得ない事情があった。そこで、洗髪を受ける方の安全・安楽の保証を第一に考慮し、さらに、実施する看護師が抱える負担や問題を解決することができると期待される。今後、多様な洗髪技術の向上や洗髪の方法を達成できることが期待される。

しゃもと・いくえ 基礎看護学分野。愛知県立大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程修了。1966年生まれ。